

「路傍の石」作品コンクール支援ボランティア活動

報告者 栃木支部長 出井康夫
情報提供者 栃木支部相談役 高田和軌



栃木市出身の児童文学の最高峰に立つ山本有三先生を啓蒙する、今年で24回目迎える「路傍の石」作品コンクール展です。市内の小中学生の絵画・読書感想文を展示します。

去年は、コロナ禍で中止になりましたが、今年はコロナ感染対策

をして展示準備・飾り付け・鑑賞・片付けを実施することになりました。

11月18日(木)準備1月7日(金)飾り付け1月10日(月)片付けを栃木支部から出井支部長、高田顧問、柏崎、鶴見、伊東、高久三、葛西、早乙女、高久博、松本11人でボランティアの対応をしました。



山本有三記念大塚会長より、シルバー大学校同窓会栃木支部ボランティア毎回協力して参加者・参加予定日事前に提出して実施中・反省会にも積極的に楽しくやって頂いていると嬉しい

言葉を頂きました。ボランティア冥利に尽きました。

「路傍の石」作品の中で「たった一人しかない自分を、たった一度しかない一生を、ほんとうに生きなかつたら、人間、生まれてきたかいがないじゃないか」の一節が胸にしみた3日間でした。